

2025年3月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連、観光関連がやや持ち直し、畜産関連で持ち直しの動きとなっている。一方、生産活動、投資関連がやや弱含み、雇用情勢が弱含んでいる。足元では、インバウンドが増加しているものの、生鮮品を中心とした物価上昇などの影響がみられ、回復の勢いはまだら模様となっている。

生産活動は、12月の鉱工業生産指数が3か月ぶりに前年を下回った。電気・情報通信機械は前年を下回ったものの、窯業・土石製品、電子部品・デバイスは前年を上回り、食料品はほぼ前年並みとなった。

畜産関連では、2月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5は前年をやや下回り、去勢A4は前年を上回った。また豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を上回った。鶏卵相場は前年を大幅に上回った。

個人消費関連は、1月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額は前年を上回り、1月の乗用車新車登録台数は前年を上回り、2月の軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、2月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、4か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区は10か月連続で前年を下回り、奄美地区は5か月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を下回った一方、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を上回った。

雇用情勢は、1月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント下回る1.09倍となった。

【生産活動】... やや弱含み

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、スマホの買い替えサイクルの長期化などにより、回復の動きは鈍い。

1月の焼酎生産は、3か月ぶりに前年を下回った。芋焼酎がビール、ハイボールなど他の酒類との競争で苦戦しており、出荷量は2か月連続で前年を下回った。

12月のかつお節生産は、3か月連続で前年を下回った。

2月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが3か月ぶりに前年を下回り、民間工事向けは17か月連続で前年を下回り、全体では13か月連続で前年を下回った。

2月の紙パルプ生産は、3か月連続で前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 持ち直しの動き

2月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。2月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が0.6%減と前年をやや下回り、去勢A4が2か月ぶりに前年を上回った。1月の枝肉生産量は前年を上回った。

2月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、寒波による生育不良等により出荷頭数が減少したことから4.4%増と5か月連続で前年を上回った。1月の枝肉生産量はほぼ前年並みだった。

2月のプロイラー相場（東京地区）は、もも肉は8.7%増と5か月連続で前年を上回り、むね肉は6.1%増と5か月連続で前年を上回った。2月の処理羽数は前年を下回った。

2月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、全国的な鳥インフルエンザの影響により65.8%増と大幅に前年を上回った。1月の配合飼料価格は19か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... やや持ち直し

1月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品がほぼ前年並みとなったものの、飲食料品は前年を上回り、全体では3か月連続で前年を上回った。寒波の影響で冬物商材が好調だった。

1月の**専門量販店販売額**は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアのいずれも前年を上回った。

1月の**乗用車新車登録台数**は、2か月ぶりに前年を上回った。

2月の**軽自動車届出台数**は前年を上回った。

【観光関連】... やや持ち直し

2月の**主要ホテル・旅館宿泊客数**（鹿児島・霧島・指宿地区）は、海外定期便の増便などから4か月連続で前年を上回った。韓国からの入り込みや個人客が増加した。

鹿児島地区は、韓国、中国などからの入り込みや個人客が増加し、4か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、香港、韓国などからの入り込みや個人客が増加し、4か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関西、関東などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

種子島・屋久島地区は一部施設の改装などから10か月連続で前年を下回り、**奄美地区**は5か月連続で前年を上回った。

2月の**主要観光施設入場者数**は、前年が閏年だったことなどから前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】... やや弱含み

2月の**公共工事**は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

1月の**民間建築工事着工**は、棟数、床面積は前年を下回ったものの、工事費予定額は前年を上回った。

1月の**新設住宅着工戸数**は、持家、分譲が前年を下回ったものの、貸家は前年を上回り、全体では3か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、24.2%減となった。

1月の**主要建設資材卸売業者**の売り上げは、3か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を上回った

1月の輸出額は、パルプ及び古紙が前年を下回ったが、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回り、全体では35.8%増と6か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で74.9%増と2か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】... 弱含み

1月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント下回る1.09倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

1月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.1%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年と同数

2月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（6件）と同数だった。また、負債総額は17億39百万円で前年同月（12億20百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)